

**製品名: Lfc ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13283**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	101kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ARHGEF2
別名	ARHGEF2; KIAA0651; LFP40; Rho guanine nucleotide exchange factor 2; Guanine nucleotide exchange factor H1; GEF-H1; Microtubule-regulated Rho-GEF; Proliferating cell nucleolar antigen p40
遺伝子 ID	9181.0
SwissProt ID	Q92974
免疫原	抗血清は、ヒト ARHGEF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 383-432

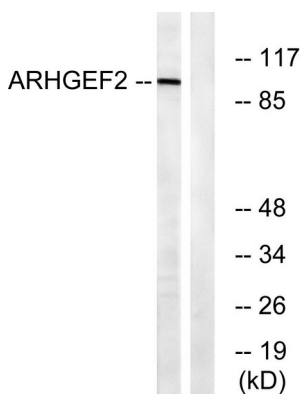
**背景**

Rho GTPaseは、Gタンパク質共役受容体を介して作用する細胞外刺激によって開始される数多くの細胞プロセスにおいて、基本的な役割を果たします。コードされているタンパク質はGタンパク質と複合体を形成し、rho依存性シグナルを刺激する可能性があります。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq提供、2009年6月]、ドメイン：DH（DBL相同）ドメインはRhoAと相互作用し、GTPのローディングを促進します。ドメイン：PH（プレクストリン相同）ドメインは、微小管への結合とタイトジャンクションへのターゲティングに関与しています。機能：GDPからGTPへの交換を促進することでRho-GTPaseを活性化します。上皮バリア透過性、細胞運動と分極、樹状突起棘の形態、抗原提示、白血病細胞の分化、細胞周期の調節、および癌に関与している可能性があります。Rac-GTPaseに結合しますが、Rac-GTPaseに対するヌクレオチド交換活性は促進しないようです。これはPubMed:9857026で独自に報告されています。代わりにRacの皮質活性を刺激する可能性があります。CDC42、TC10、またはRas-GTPaseに対しては不活性です。online information:ARHGEF2 entry,PTM:PAK1によるSer-886のリン酸化は、タンパク質14-3-3ゼータへの結合を誘導し、微小管への再配置を促進し、その活性を阻害します。有糸分裂中にSTK6およびCDK1によってリン酸化され、その活性を負に制御します。MAPK1またはMAPK3によるリン酸化は、ヌクレオチド交換活性を増加させます。PAK4によるリン酸化により、GEF-H1は微小管から遊離する。配列注意：この配列は論文で示されている配列とは大きく異なる。類似性：DH（DBL相同）ドメインを1つ含む。類似性：PHドメインを1つ含む。類似性：ホルボールエステル/DAG型ジンクフィンガーを1つ含む。細胞内局在：細胞分裂中に有糸分裂紡錘体の表層微小管の先端に局在し、微小管の脱重合時にさらに遊離する。サブユニット：14-3-3ゼータと相互作用する。Ser-886がリン酸化されると相互作用する。キナーゼPAK4、AURKA/STK6、MAPK1と相互作用する。RHOAおよびRAC1と相互作用する。

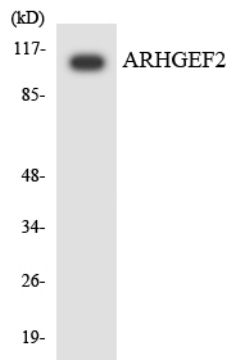
## 研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

## 画像データ



RAW264.7細胞ライセートのARHGEF2抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



ARHGEF2 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。